



秋の防犯対策を考えましょう

- 毎年秋は、一般的に犯罪件数が増加する季節といわれています。その理由は、
- ✓ エアコンが必須の真夏と違い、暑すぎず寒すぎない秋は**窓を開ける機会が増える時期**です。例えば、ちょっとしたゴミ出しやお買い物など、短時間の外出時に窓を閉め忘れることが増える可能性があります。
 - ✓ 日照時間が短くなる時期で、秋ともなれば日は早い時間に落ち、**暗い時間帯が増えます**。視認性が悪くなる暗い時間帯に空き巣などが増える傾向にあるなど、日照時間の長さも関係しているといわれます。
 - ✓ また、秋は行楽シーズンでもあり、旅行や運動会、文化祭などの学校行事も多くなる時期でもあります。こうした理由から**自宅を長時間、あるいは長期間留守にする機会が増える**かもしれません。



玄関ドアや窓などの施錠

開口部(屋外から屋内に入る部分)の施錠の状態を確認しましょう。玄関ドアや窓といった建物の開口部は、空き巣などの侵入窃盗犯の侵入経路でもあります。解錠や施錠が確実にできるか、不具合はないかといった基本性能についてはもちろんのこと、ドアガードや窓のクレセント錠(半円形の金具)についても故障やすぐ外れるといった問題はない

か、確認してください。

また、できれば**補助錠なども設置**、すでに設置済みであれば正しく動作するかどうかを確認してください。昨今であればドアの施解錠の情報がスマートフォンに送られるスマートロックなどのシステムもあるので、必要に応じてご検討いただくのもよいでしょう。

照明や防犯カメラの設置

夜間や不在の時など、常に監視体制が整っている状態にする、防犯システムを配置するのもセキュリティの強化には有効です。**自宅の周囲にセンサーライトを設置**し、不審者が近づいた際に自動で点灯するようにすることで暗い場所を減らし侵入を防ぎます。

また、昨今では**防犯カメラを設置**するご家庭も少なくありません。以前は抑止効果を狙ったダミーの防犯カメラを設置するケースもありましたが、近年の防犯カメラの小型化や普及によって導入しやすくなっています。万一の場合に証拠にもなりますし、ドライブレコーダー同様、近年増加しているセキュリティアイテムです。



不審者が嫌がる環境をつくる

不審者は、人の目にさらされにくい場所（出入り口）を好みます。前述のように**センサーライトを設置**したり、生い茂った植栽や大きな荷物などで窓やドアが隠れた状態にならないようにすることも重要です。また、周囲にゴミや物を置きっぱなしにしないようにして「**きれいな環境**」をつくることで、**侵入の足場を作らない、侵入をためらわせる心理的な影響を与える**ことができ、災害時などの思わぬ事故や怪我の予防にもつながります。**環境美化対策は重要な防犯対策です。**